



# News Letter

## Vol.8-2



### Topics

#### オープンキャンパス開催!

今年度初の別府大学オープンキャンパスが、4月19日(日)に開催された。食物栄養学科では約40名の高校生が参加し、臨床栄養学「患う人の栄養マネジメント」について、医師でもある樋園准教授が講義し、病院に勤務する4名の卒業生が実際の仕事内容や大学生活、進路、国家試験などについて自身の経験を披露した。参加してくれた大分南高校の小野さんは、次のように感想を述べてくれた。



大分南高校  
小野雅子さん

いろいろなところで活躍している方の話を聞いて、進路の幅が広がり、とてもいい勉強になりました。話を聞いていると難しそうだったけど、みなさん楽しそうに話していたので興味がわきました。

#### 新任の先生の紹介



木村靖浩先生 (きむら やすひろ)

大学院卒業後、病院に勤務、その後、大塚製薬入社、大塚製薬勤務中にアメリカ(ミシシッピ州立大学)に留学し「腸管生理学」を学ぶ。その後、ミシシッピ州立大学生物科学科で5年間研究員をされ、テネシー大学のベンチャー企業にて医薬品研究開発を行う。主な研究テーマは、食品中(あるいは人体の内因性)の生理活性物質が小腸吸収機能に及ぼす影響。栄養素の吸収を高める・低下させる物質の研究によって、将来は製品化が目標。

大学時代は、人生の中でも非常に貴重な時間です。よく学び、よく遊び、いろいろなことにチャレンジして下さい!!

第8期生

## 入学おめでとう!

4月4日(土)、平成21年度別府大学入学式が行われた。食物栄養学科は、第8期生68名が入学した。4月6日(月)より実際に取得する単位の説明や学生生活についてのオリエンテーションが行われ、4月8日(水)からは1年前期の講義がスタートした。

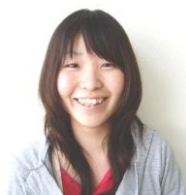
1年担任の井上教授、浅田准教授は、「入学したばかりで様々な不安(化学が分からない・・・とか、一人暮らしで寂しいとか、家事が大変とかetc...)を抱えているかもしれませんが、68名みんな同じ目標を持っていると思います。管理栄養士国家試験合格という目標に向かって、お互い協力し合い励まし合いながら楽しく大学生活を過ごしていきましょう。」とエールを送った。

5月には、1年生が3年生と教職員とともに、湯布院のゆふの丘プラザで宿泊研修を行い、野外調理やレクリエーションを楽しむことで、先生や先輩との交流を図る。4年間は、長いようで短い。悔いのない大学生活が送れるよう、1年生を側面からサポートしながら見守りたい。



### 特集! 先輩は今!

#### 大分南高校出身の先輩の今をレポートしました!!



4年 加藤千佳さん

明るくて負けず嫌い。分からないことは必ず解決しようと努力する頑張り屋さんの加藤さんは、5期生の中でも成績優秀。将来は、病院栄養士を目指しており、現在、樋園研究室で卒業研究に打ち込んでいる。加藤さんは、「食」は、病気を予防したり、合併症を予防したり、食べる楽しみや生きる希望を与えることができたりと素晴らしい力を持っていると思います。そのような素晴らしい「食」を通じて人の役に立ちたいと考えています。その中でも管理栄養士免許を取得して病院に勤務し、病気で苦しむ患者さんが1日でも早く退院できるように食の分野から手助けができれば・・・と将来の夢を語ってくれた。

大学を卒業してから四年になりますが、私にとって大学時代の思い出はとても楽しく印象深いものです。特に印象深い思い出は、学祭で同じ学部の仲間と出店を出した事です。準備は大変でしたが、すばらしい経験となり、仲間とより友情を深める事ができたと思います。今でも大学時代の友人は私にとって大切な仲間です。

現在私は、特別養護老人ホーム寿志の里で管理栄養士として働いています。ここでは、大学で学んだ食品や栄養の知識だけではなく、医学や介護などさまざまな知識が必要だと分かりました。また関連職種と情報交換しながら業務遂行する事が大切でした。そのため、今までのように厨房や事務室にいたのではなく、他職種や利用者とのコミュニケーションを図り、信頼関係を築いていかなければならないと思いました。昔から福祉関係の仕事に就きたいと思っており、また自分の興味のある分野を生かせる職場で働けて充実した日々を送っています。これからも「食」を通して、たくさんの方と出会い、知識を深めていきたいと思っています。



1期生  
亀山絵美さん  
特別養護老人ホーム  
寿志の里  
管理栄養士

〒874-8501 別府市北石垣 82  
別府大学 食物栄養科学部  
食物栄養学科 tel : 0977-66-9630  
入試広報室 tel : 0977-66-9666  
別府大学ホームページ⇒

<http://www.beppu-u.ac.jp>

# ☆ Open Campus Report ☆



**吉村加奈さん**  
2期生 東九州龍谷高校出身  
管理栄養士—別府市の畑病院に勤務  
【教員からのひと言】  
大学から別府大学大学院に進学し、糖尿病境界型と食事の関係について研究。栄養教諭専修免許も取得。大学院時代の学会発表が学会から優秀賞として表彰された。



**松宮直子さん**  
3期生 別府青山高校出身  
管理栄養士—竹田市の大久保病院に勤務  
【教員からのひと言】  
大学時代から豊かな発想力、決断力がある人気者。病院で患者さんの状態に合わせた食事を提供する傍ら、スポーツ栄養士としても講演活動を行う。



**山本裕美さん**  
3期生 別府鶴見ヶ丘高校出身  
管理栄養士—行橋市の新行橋病院に勤務  
【教員からのひと言】  
大学時代の進路決定の折、「おじいちゃん、おばあちゃんが好きなんです。役に立ちたいんです。」と言った言葉が忘れられない。彼女の信念と理想は非常に高い。



**堀 美月さん**  
4期生 杵築高校出身 管理栄養士  
—杵築市の杵築オレンジ病院に勤務  
【教員からのひと言】  
今年3月に卒業したばかり。管理栄養士国家試験は、見事合格(5/8発表)。大学時代は、研究室で毎日、自主学習を10時間以上行う。



教員やイケ面先輩中武くんと一緒に  
お弁当を食べるオープンキャンパスに訪れた高校生♥

お知らせ

毎回本学科のオープンキャンパスでは、上記のような活躍する先輩の話を聞くことができます。

**別府大学 オープンキャンパス 5月17日10:00~開催!!**

4月19日(日)第1回の別府大学オープンキャンパスが開催された。食物栄養学科では、臨床栄養学「患う人のための栄養マネジメント」と題して、樋園准教授が講義を行った。写真は、参加者のみなさんが講義を熱心に聞く様子。

## 1. 樋園准教授の講義を体験!!

樋園准教授は、病院栄養士がどのような仕事をするのか、どのような考え方に基づいて行っているのかを説明した。——患う人(患者さん)の状態を、検査を行ったり、お話を聞いたりすることで判断し、入院時点での栄養評価を適切に行うこと。さらには、患者さんに合った食事方針を決定し、食事を提供しながら普段の食量(残食など)、摂取状況、血液検査値などを確認しながら経過の観察を行う。このような毎日の業務によって患者さんの状態を把握し、栄養状態の改善が、病気の治療に有効に働くように努める。——と講義した。

## 2. 病院に勤務する卒業生との懇談

病院に勤務する卒業生から仕事紹介をもらい、高校生からの質問に答えてもらった。

### 【4名が大学で取得した資格】

栄養士、管理栄養士、食品衛生監視員・食品衛生管理者任用資格、フードスペシャリスト資格。

吉村さんは、栄養教諭専修免許も取得。

### 【国家試験の勉強】

- ・3年の春休みから本格的に始めた。
- ・模擬試験の後すぐに分からなかったところを学習し、次の試験では必ず点が取れるようにした。
- ・4年の後期からは卒論の研究室で10時間自主学習した。

### 【病院での仕事の様子】

- ・栄養管理、特に病院で決められた疾患に関して専門的に管理を行っている。
- ・他職種の方々と患者さんの状態について検討したり、申し送り・カルテの記入等を行う。
- ・嚥下障害の程度をみるための検査食を作って嚥下の状態を確認している。
- ・気になる患者さんの食べる様子を見に行き、嚥下障害などでムセがある場合には、食事を工夫し、実際に食事介助をしたりして経過をみている。
- ・調理現場で疾病別の食事内容について、調理を通して学んでいる。

### 【なぜ病院栄養士になったのか】

- ・説明会に行くなど情報を収集した後、いろいろ考え自分自身に合った仕事だと思ったから。
- ・実際の現場に出て、管理栄養士として力試しをしてみたいと思ったから。
- ・自分の好きなことは何か考えたとき、「おじいちゃん、おばあちゃんに関わる仕事がしたい」という気持ちが強かったので、役に立つ仕事を考えたとき病院が選択肢として残ったから。

## 3. 昼食(みんなで楽しく食事)

## 4. 施設見学(在校生が案内)

毎回、施設見学は在校生が案内してくれます。今回も先生にはなかなか聞けない質問に気軽に答えてくれたはず!